

～ 平成 27 年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計結果（概要）～

平成 29 年 1 月 30 日

移動の概況

- 5年前の常住地からの移動状況（「5年前には どこに住んでいましたか」の項目で把握）は、総数では三重県への転入が 86,326 人（うち、他県から 76,740 人、国外から 9,586 人）、転出が 82,334 人で、差し引き 3,992 人の転入超過
 - 他県との状況をみると、転入が 76,740 人、転出が 82,334 人で、差し引き 5,594 人の転出超過
 - 男女別にみると、男性は転入が 49,525 人（うち、他県から 44,771 人、国外から 4,754 人）、転出が 45,639 人で差し引き 3,886 人の転入超過
 - 女性は転入が 36,801 人（うち、他県から 31,969 人、国外から 4,832 人）、転出が 36,695 人、差し引き 106 人の転入超過
- （参考）平成 27 年国勢調査の三重県人口 1,815,865 人（男性 883,516 人、女性 932,349 人）平成 22 年国勢調査の 1,854,724 人から 38,859 人の減

三重県への転入者が多い都道府県

- 転入者の多い都道府県（転入元）をみると、愛知県 19,580 人、大阪府 7,665 人、東京都 4,529 人、神奈川県 3,741 人、岐阜県 3,494 人と続く
- 男女別にみると、男性は愛知県 10,843 人、大阪府 4,396 人、東京都 2,680 人、神奈川県 2,396 人、岐阜県 1,902 人と続き、女性は愛知県 8,737 人、大阪府 3,269 人、東京都 1,849 人、岐阜県 1,592 人、神奈川県 1,345 人と続く
- 転入超過は、福岡県 538 人、大分県 439 人、沖縄県 411 人、和歌山県 328 人、熊本県 314 人の順

三重県からの転出者が多い都道府県

- 転出者の多い都道府県（転出先）をみると、愛知県 25,617 人、大阪府 8,045 人、東京都 5,707 人、神奈川県 3,804 人、岐阜県 3,295 人と続く
- 男女別にみると、男性は愛知県 13,646 人、大阪府 4,153 人、東京都 3,119 人、神奈川県 2,146 人、岐阜県 1,802 人と続き、女性は愛知県 11,971 人、大阪府 3,892 人、東京都 2,588 人、神奈川県 1,658 人、奈良県 1,494 人と続く
- 転出超過は、愛知県 6,037 人、東京都 1,178 人、京都府 713 人、大阪府 380 人、埼玉県 179 人の順

年齢別の状況

- 年齢別（5歳階級）にみると、転入は25～29歳と30～34歳がそれぞれ1万人以上で、中でも25～29歳が最も多く13,342人
- 転出は20～24歳と25～29歳がそれぞれ1万人以上で、中でも20～24歳が最も多く14,857人
- 15～19歳、20～24歳及び75～79歳以降が転出超過で、それ以外は転入超過

地域別の状況

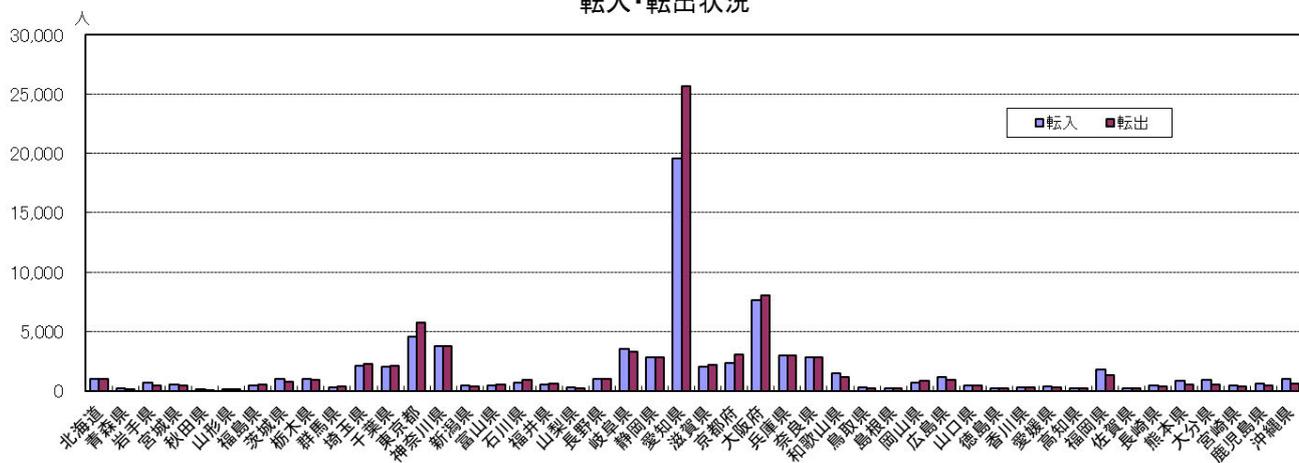
- 地域別にみると、転入は東海地方から25,888人、近畿圏※から19,322人、東京圏※から12,370人
- 転出は東海地方へ31,770人、近畿圏へ20,211人、東京圏へ13,840人
- 東海地方は5,882人の転出超過、近畿圏は889人の転出超過、東京圏は1,470人の転出超過
- 東海地方（主に愛知県）との間の移動が最も多く、近畿圏（主に大阪府）、東京圏（主として東京都、神奈川県）の順に移動が多い

※ 東海地方の数値は、愛知県、岐阜県、静岡県を集計したもの

近畿圏の数値は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県を集計したもの

東京圏の数値は、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県を集計したもの

転入・転出状況



年齢5歳階級別移動状況

